

5 ステークホルダーへの価値提供

事業活動を通じたアウトプットを積み上げたうえで、当金庫はステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを実践しながら、価値を提供し続けることを目指しています。

価値提供に関連する主なアウトプット(成果)[※]



地球環境・社会・経済へのインパクト創出

▶ P.45～50

- サステナブル・ファイナンス：累計新規実行額**11.4兆円**
- ネットゼロ・ネイチャーポジティブに向けた投融資先へのエンゲージメント
- 食農バリューチェーン全体での脱炭素化に向けた取組み
- 自然課題解決に向けた分析



農林水産業・地域の持続的な発展

▶ P.33～36

- 農林水産業者や食農関連企業等への資金供給
 - ・ 農業関連融資残高：**4,912億円**
 - ・ 農林中金グループ成長資金供給額（出資）：**1,198億円**
 - ・ 農業・食料システム発展資金の創設：融資枠**1,000億円**[※]※ 既存融資枠「食農バリューチェーン戦略応援融資枠」との合算
 - 担い手の経営高度化サポート：JAバンクの担い手コンサルティング累計**1,483件**
 - 輸出支援などの食農バリューチェーン強化支援
 - 自然由来カーボンクレジットの媒介：累計**約17万t-CO₂**[※]
- ※ 長期契約に基づく見込みも含む



デジタルとリアルの最適融合による組合員・利用者への価値創造

▶ P.37～40

- JAバンク・JFマリンバンクの金融仲介機能発揮への支援（JA・JFの貸出業務や資産形成・運用提案支援）
- デジタルインフラの充実化（JAバンクアプリ等の機能改善）
- 地域特性に応じたJA・JFによる経営戦略策定・実践への支援
- JAバンクの事業基盤維持・確立に向けた全国企画の実践
- JA・JFによる地域活性化や漁場環境保全活動の後押し



会員への安定的な収益・機能還元の発揮

▶ P.41～44、52～54

- 連結純利益：**1,214億円**
- 収益源の分散化に向けた取組み
 - ・ 金利リスク・非金利リスク資産のリバランス
 - ・ グループ会社の資産運用ビジネスの実践
- 財務ガバナンス高度化（財務戦略委員会の設置）



変化に挑戦し続ける柔軟で強靱な組織の実現

▶ P.55～68、69～77

- 戦略（中期ビジョン）と連動する人材ポートフォリオ構築とそのための人事施策・育成・採用等の実践
- 職員エンゲージメントの向上：スコア**61%**
- ビジネス部門と一体となったITデジタル活用によるビジネス共創
- 業務高度化に向けたAIエージェントの開発着手
- サイバーセキュリティへの対応高度化
- 経営システム・ガバナンスの不断の高度化（非常勤理事の招聘）

私たちのステークホルダー

会員 (系統組織等)

JA、JF、JForest、
各系統組織の連合会等

農林水産業者 (会員の組合員等)

地域社会

地域住民・企業・団体等

取引先

農林水産関連企業、
事業法人等

投資家

国内外の機関投資家、
農林債投資家等

ビジネスパートナー

金融機関、市場参加者、
業務提携・委託先等

行政

主務省、
地方公共団体等

農林中央金庫グループ職員

私たちが提供する主な付加価値

- 最終的な運用の担い手としての安定還元
- JAバンク・JFマリンバンクの全国機関としての各種施策・システムインフラ・統一的な事務手続等の企画・提供
- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のネットワーク等を通じた課題の解決・成長の支援

- 会員との連携による事業活動の支援・所得向上の後押し
- 当金庫や会員による金融サービス提供等を通じた課題の解決・ライフプランのサポート
- 地域課題の解決と地域活性化への貢献

- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のネットワーク等を通じた課題の解決・成長の支援
- 系統組織の基盤を活かした協業

- 資産運用ビジネスによる高品質な投資機会の提供
- 当金庫の気候変動への取組みにかかるファイナンス機会の提供

- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のネットワーク等を通じた課題の解決・成長の支援

- 持続可能な食料システムの確立や地域活性化等への貢献
- 当金庫の金融サービス・知見・国内外のネットワーク、系統組織の基盤を活かした協業の実現

- 仕事のやりがい・達成感を得られる職場環境の提供
- 職員のキャリア開発・成長機会の提供
- ライフスタイルに応じた多様な働き方の実現

※ 2025年度中または2025年度末時点の実績